

令和3年4月16日

保護者の皆様へ

稲沢市立大塚小学校長
皆川 昭 光

陽春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大（第4波）が心配される中、令和3年度がスタートしました。昨年度は、4月・5月と休校措置がとられ、学校の始まりが6月でした。今年度は、4月から学校をスタートさせることが出来、本当によかったと思っています。

令和3年度、学校が大きく変化していく年となります。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 児童一人に一台のタブレット端末2 学校運営協議会制度のスタート |
|--|

1 タブレット端末を使った授業

今年度、児童一人一人に自分用のタブレット端末が教室に設置されました。それぞれの教室の前面にボックスが設置されていますので、学校公開日の折りに見ていただけるとありがたいと思います。今年度より授業の中で、タブレット端末を使用する機会が増えていきます。そのための環境整備は順調に進んでいます。今後は、授業の中で実際にどのようにタブレットを活用していくのか、その方法を学校で、また稲沢市全体で考えていきます。まずは、タブレットの使用に慣れることが大切であると考えています。とはいえ、今の子どもたちの中には、生まれたときから身近にスマホやタブレットがあり、教員以上にその使用に慣れている子もいるのではないかと考えています。タブレットの使用によって子どもたちの学習スタイルは変わっていきます。しかし、大切なことは、タブレットを使うことで子どもたちの学びが、より確かなものになっているかどうかということです。

2 学校運営協議会制度

また、今年度より学校運営協議会制度が、稲沢市の全ての小中学校で実施されます。これまで、「学校評議員」の方々から学校運営に関する様々なご意見をいただき、学校の運営や改善に反映してきました。新しい制度は、「意見をいただく」にとどまらず、多くの地域の方々や保護者の方々と学校とが、一体となって子どもたちの成長に関わっていけるような体制を創りあげることを目指した制度です。

本校では昨年度、文部科学省からこの制度についての専門の知識と豊富な経験をおもちの先生を招き、職員を中心に学習会を行ってきました。理想とする姿を現実のものとしていくためには多くの時間を要することになるかと思います。保護者の皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中ですが、教職員一同、今一度、感染症対策を見直し、力を合わせて子どもたちの指導にあたっていきたいと考えています。昨年度実施出来なかった学校行事も可能な限り、感染対策を講じながら実施していく予定です。

どうぞ、今年度もよろしくお願いいたします。